

研究・調査報告書

報告書番号	担当
288	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Impact of lifestyle on overall cancer risk among Japanese: the Japan Public Health Center-based Prospective Study (JPHC Study). 生活習慣が日本人の全がんリスクに与える影響: JPHC 研究	
執筆者	
Inoue M; JPHC Study Group.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Epidemiol. 2010 Mar 5;20(2):90-6. Epub 2010 Feb 13.	
キーワード	
がん、危険因子、寄与割合、日本人、コホート研究	
要旨	
<p>日本においてがんは長い間主要疾患として認識されている。現在の日本人にふさわしく、かつ様々ながんに特異的な、がん制圧のための実践的手法の導入が必要である。</p> <p>著者らは、日本人集団における主要危険因子が全がんリスクに及ぼす影響を、JPHC 研究のデータを用いて、推定した。</p> <p>検討した危険因子は、喫煙・飲酒・body mass index・糖尿病既往歴・運動習慣・メタボリック関連要因、および、その重複、である。</p> <p>検討の結果、喫煙・多量飲酒は有意に正に全がんリスクと関連し、運動量は負に関連していた。また、糖尿病既往歴は全がんリスク高値と関連していたが、過剰 body mass index やメタボリック関連要因、およびその重複と、全がんリスクとの間に関連は認められなかった。</p>	